

# 幼児教育の充実に向けた 保育者の資質と専門性の向上について



愛知県幼児教育研究協議会  
愛知県教育委員会

## 幼児教育の充実に向けた保育者の資質と専門性の向上について

- 目次
- はじめに

### I これからの幼児教育の充実に向けて

1	幼児期の教育・保育の中で大切にしたいこと	2
(1)	幼児教育を取り巻く大きな変革	2
(2)	教育と保育	2
2	幼児期の教育・保育の「質」について	4
3	幼稚園・保育所のそれぞれのよさと取組について	6
(1)	愛知県の現状と課題	6
(2)	幼稚園のよさと保育所のよさ	7
(3)	理解を深めるためのQ&A	9
①	幼稚園・保育所では、それぞれにどのような園内研修を行っているか。	10
②	幼児の一日の生活の様子や変容についての記録、また、保護者への伝達をどのように行っているか。	11
③	幼児の育ちや指導の評価をどのように行っているか。	14
④	特別な支援を必要とする幼児（気になる幼児も含む）への対応（職員間の連携体制や加配保育者等）はどのようにしているか。	16
⑤	幼児が自ら選んで行う活動（遊び）の中で、園内の様々な場所で遊んでいる様子や状況の把握をどのように行っているか。	18
⑥	一人の子どもに対して、時間を追って複数の保育者が関わるが、子どもの様子について、どのように引継ぎをしているか。	19

## II 保育者の資質と専門性の向上について

1 保育者に求められる資質	2 1
2 保育者に求められる専門性	2 2
① 幼児を理解し、総合的に指導する力	2 2
② 具体的に保育を構想し、実践する力	2 3
③ 保育者集団の一員として協働する力	2 4
④ 特別な支援を必要とする幼児に対応する力	2 4
⑤ 小学校の教育を見通す力	2 4
⑥ 保護者（家庭）や地域住民（地域社会）との関係を築く力	2 5
⑦ それぞれの立場に応じたリーダーシップ	2 6
⑧ 人権教育についての理解	2 6
3 資質と専門性を向上させる具体例	2 7
(1) 幼稚園・保育所・認定こども園における課題	2 7
(2) 保育者の資質と専門性を向上させる六つの具体例Q & A	2 7
① 幼児理解のための保育カンファレンス	2 8
② 保護者との関わり	3 0
③ 指導計画作成の手順や考え方	3 2
④ 環境の構成の考え方	3 4
⑤ 保育者集団として高め合う園内外研修	3 6
⑥ 小学校教育につなげる三つの力（生活する力・かかわる力・学ぶ力） の指導	3 8
○ 愛知県幼児教育研究協議会のあゆみ	4 0
○ 愛知県幼児教育研究協議会委員・専門部会委員・事務局名簿	4 1

# はじめに

少子化の進行や共働き世帯の増加に伴い、幼児を取り巻く環境が変化する中、平成27年4月からスタートした、子ども・子育て支援新制度では、「全ての子どもに質の高い幼児期の教育・保育を総合的に提供していくこと」が方針として示されています。また、教育公務員特例法(昭和二十四年法律第六十七号)施行令の一部が改正され、公立の幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭についても、幼稚園教諭と同様に、新規採用教員研修と十年経験者研修が義務付けられました。

近年、公立の幼稚園、保育所等との人事交流や、幼稚園から保育所・認定こども園への移行・統廃合などが進む中、教育・保育の内容や幼児教育を取り巻く社会の変化に戸惑いを感じている保育者も少なくありません。その中で、質の高い教育・保育の実現を図るために、保育者には教育・保育両方の理論と実践力を身に付けることが求められています。

本協議会では、『愛知の幼児教育指針』の重点目標の一つである「保育者の資質と専門性の向上」を具体化し、平成26年度・27年度の2年間にわたり協議題を「幼児教育の充実に向けた保育者の資質と専門性の向上について」とし、協議を重ねました。県内の幼稚園・保育所・認定こども園等の全ての保育者が、園内外研修の推進、幼児理解を深めるための日々の記録の工夫、5歳児後半(アプローチ期)から小学校1年生前半(スタート期)へのつながりの教育課程の理解などを通じて、実践力等の資質と専門性を高めていくことが望まれます。それは、これからの幼児教育を担う、経験の少ない保育者や養成校の学生に、特に期待されていることでもあります。

愛知の子どもたちが、いつでもどこでも等しく質の高い教育・保育を受けるためにも、幼児教育に携わる全ての保育者が、専門職としての自分を磨き、お互いに高め合っていくことが大切です。2年の月日をかけ、多くの委員の御尽力によって作成された本報告書が、各市町村を始め県内の全ての幼児教育機関において、幼児教育の充実に向けて役立つことを心から願っております。

平成28年3月

愛知県幼児教育研究協議会

会長 後藤宗理